

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】三笠市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
6	2005.10.31			北海道	三笠市	12,255	302.64
構想の要約		バイオマス資源(生ごみ・下水汚泥・廃食用油等)の有効活用による堆肥等の生産により、循環型社会を構築するとともに次世代に誇れる環境と農業観光振興による元気なまちづくりを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1 生ごみの堆肥化施設の建設 2 下水汚泥の堆肥化施設の建設 3 廃食用油のBDF化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材		その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成18年度、F・Aリサイクル(株)、生ごみ堆肥化施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

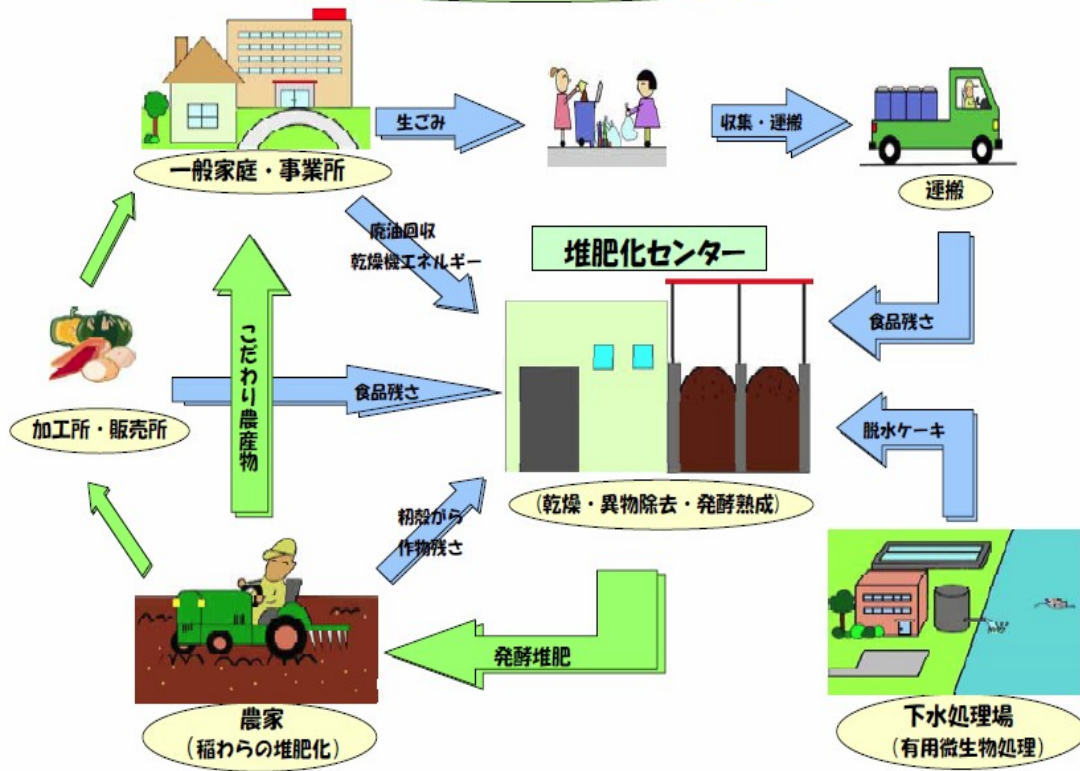
地域のバイオマス資源で利活用が遅れている食品残さは、一般廃棄物として家庭、事業所、学校、病院、養護老人ホーム等から排出され、地域全体に及んでいます。この取り組みにより、三笠市全体に刺激を与え地域の活性化につなげ、次へステップアップしていくものとします。

また、下水汚泥を堆肥化し地域農業に利用することは、現在、産業廃棄物として岩見沢市の民間処理施設において有料で処理し、長沼町の農家で堆肥として利用しているものが、地域内での処理により堆肥として地元での利用が可能になり、地域循環型リサイクルシステムの構築とともに環境保全に貢献します。

このことにより廃棄物系バイオマスのうち生ごみ、廃食用油、下水汚泥をそれぞれ100%の利用促進することで、全体では92%以上の利活用を目指すものとします。

バイオマスタウン構想概要図
(バイオマスタウン構想書からコピー)

三笠市 バイオマスの堆肥化利用



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)